SH-5の特性

ローランド・シンセサイザーSH-5はコンポジットタイプのシンセサイザーとして理想的な機能を持ちます。コントロール・パネルをフロント部に配置し、コントローラーは鍵盤の左側に独立させ、さらに本体がモノタイプ形態と組み込まれた44鍵のフルコンソール型シンセサイザーで、演奏本位に設計され、厚みのある、そして多様性に富んだ音色を存分に楽しむことができます。

機能面では次にあげるような特性をもっています。

①厚いサウンドをつくる2VC0…ビッチ・レベル、レンジ、浊音選択、モノレーティオ及び、バラスのバリエーションをつくることのできるバリサウンドをそれぞれ備えた2VC0により、厚みのある音色を設定することができます。

②多様な音色撮りができるフィルター…ロー・パス、ハイパス、バンドパスの3通りに切り替えることのできるVCFに加えて独立したバンドパス・フィルターを装備しており、さまざまな音色を変化させることができるです。

③2チャンネルのアウトでパニングができます。

④ADVは出力部では標準機種に加えてパニング操作ができ、音に動きをつけることもできます。

⑤ADSRにARを加えたエンベロープ・ジェネレーター…ADSR、ARの2種のエンベロープが活用でき、トリガーの選択も自由です。

⑥リグ・モノレーティオ装置…チャイム的な音色効果を出すリング・モノレーティオを装備しており、音源に加えてより厚みのある音を得ることができます。

⑦5つの信号をコントロールできるミキサー…ノイズ、VCF1、2、リング・モノレーティオ及び外部入力の計5つの信号をミキシングでき、同時に信号の選択を変更できるターナーとしても使用できます。

⑧音楽音を音源に代わりに音に加えることが可能…入力端子を装備しているので、マイクロフォン、電音ギター、オーディオプレイヤーなどを接続して、人の声や他の楽器を音源にした音も含むこともできます。この図示で音楽を発揮するコントローラーを装備し…コントローラーには、演奏中のピッチ操作に威力を発揮する手動ペダル式ベンダーなど演奏本位のコントロールが備わられています。

SH-5のサウンドの魅力を倍増するエフェクト。

シンセサイザーは、他の電子楽器・電気楽器と同様、アンプに接続して使うので、さまざまな効果装置を中間にとりつつ音の演出をすることができます。

代表的なものに、エコー・チャンバー、フェイスフェイズラーなどがあり、エコー・チャンバー(RE-201 ￥85,000/RE-101 ￥75,000)を用いた場合に、よりダイナミックな音、幻想的な音、ソフトな音をつくることができ、フェイスフェイズラー（フェイスフェイズラーAP-5 ￥25,000など）を用いた場合には、弱めの音響、感動的な音をつくることができます。

このように、シンセサイザーは他の効果装置との組み合わせによって演奏の魅力を倍増させることがであります。

目次

接続の方法…………………………………………………………...3
セッティングの方法………………………………………………...3
各コントロールの名称………………………………………………...4
各コントロールの機能と使い方……………………………………...5

1. 音源の設定（VCO-1、VCO-2、ノイズ・ジェネレーター、リング・モノレーティオ）………………...5
2. 音源のミキシング（ミキサー）…………………………………...8
3. 音色の設定（VCF、バンドパス・フィルター）……………………………...8
4. 音量の設定（VCA）………………………………………………...10
5. コントロール信号の設定（LFO-1、LFO-2、サンプル＆ホールド、エンベロープ・ジェネレーター）………………...11
6. 演奏時のコントロール（コントローラー）…………………………...13
7. ヘッドホーン・モニター（ヘッドホーン・モニター）………………...13
SH-5サンプル・サウンド……………………………………………...14
仕様…………………………………………………………………...16
接続の方法

コンピューター（シーンカスタ）を接続して、
自動演奏をさせることができます。この場合、
コンピューター（シーンカスタ）の鍵盤電圧、
鍵盤トリガーの各端子を下図のように接続し
ます。

電子オルガン、電子ギターなどの楽器やマイクロフォンを接続し、音源
として音色を変えることもできます。この場合、トリガー端子にベガル
スイッチ（DP-1:別売）を接続し、エンベロープ・ジェネレーターのト
リガー切替スイッチ（12ページ参照）を「EXT」にして、エンベロープの
作動信号を送ります。

入力レベル切替スイッチは、電子オルガンの場合「L」、電気ギターの場
合「M」、マイクロフォンの場合「L」が適切です。

セッティングの方法

スタンド（KS-10）を用いたセッティング

コンポ演奏に最適なスタンドを用いたセッティングで
す。スタンドは専用のKS-10（別売￥15,000）をお使い
ください。

電子オルガンの上のセッティング

電子オルガンとSH-5を同時に使う場合には上図のようにセットしてください。
機能的に演奏ができます。

※フットポリュームには専用のFV-1（別売￥6,800）、トリガー用スイッチには専用のDP-1（別売￥1,800）を御使用ください。
各コントロールの名称

6. 演奏時のコントロール
●コントローラー
   (13ページ)

5. コントロール信号の設定
●LFO-1
   (11ページ)

1. 音源の設定
●VCO-1
   (5ページ)

2. 音源のミキシング
●ミキサー
   (8ページ)

4. 音量の設定
●VCA
   (10ページ)

7. ヘッドホーン・モニター
●ヘッドホーン・モニター
   (13ページ)

●サンプル & ホールド
   (11ページ)

●ノイズ・ジェネレーター
   (7ページ)

●リング・モジュレーター
   (7ページ)

●バンドパス・フィルター
   (9ページ)

●エンベロープ・ジェネレーター
   (13ページ)

※コントロールの名称の下に記されているページに機能が説明されています。

各コントロールの操作上の分類

ローランド・シンセサイザーSH-5の各コントロールは、操作上、次のように分けることができます。（上図参照）
①音源の設定：SH-5の音源になるところ。
●VCO-1
●VCO-2
●ノイズ・ジェネレーター
●リング・モジュレーター
②音源のミキシング：音源のミキシング及び選択選択のターミナル。
●ミキサー
③音色の設定：音色に関するコントロール。
●VCF
●バンドパス・フィルター（BPF）

④音量の設定：音の出し方・消え方に関するコントロール
●VCA

⑤コントロール信号の設定：コントロール信号を設定するところ
●LFO-1
●LFO-2
●サンプル & ホールド
●エンベロープ・ジェネレーター

⑥演奏中のコントロール：演奏中の操作機能を集めたところ。
●コントローラー
⑦ヘッドホーン・モニター
●ヘッドホーン・モニター
各コントロールの機能と使い方

1. 音源の設定 — 音源に関するコントロール。

**VCO-1**

- 音色づくりの基本となる音源波形を選びつまみ
  - 「W」：サイオンに近い音
  - 「NN」：バイオリンのような音
  - 「R」：クラリネットなどの1枚リードの木管楽器のような音
  - 「R」：トランペットなどの金管楽器、オーケストラなどの2枚リードの木管楽器のような音
  - 「R」：パルスワイズによって波形を変化させることができます。

**ウェーブフォーム・セレクター (WAVEFORM)**

**VCOモジュレーション (MOD.)**

- LFO-1、2からの信号「NN」、「R」、「R」に従って自動的に信号を変えるパルスウッド効果を出すので、切替スイッチでLFOからの信号を選び、モジュレーションのつまみで効果の深さを設定します。

この場合の効果の視点はそれぞれの波形を発生するLFOで設定します。（使用例①参照）

- 切替スイッチを「SYNC」にした場合にはサンプル&ホールド (SAMPLE/HOLD) の各コントロールで設定された信号に従ってVCO-1の音が跳動する音程間関係なく自動的に出てきます。特定の音を出すことができると、我々が何と呼ぶことができます。（使用例③参照）

**シンクロ (SYNC.OUT)**

- 2つのVCOによって、2つのVCOでは得られないので音色模写による波形をつくることができます。

このような場合、2つのVCOの微妙な波形差 (ピッチ) の差がVCO-1の周波数に従って変化するので、ピッチを制限することができます。（使用例②参照）

- 切替スイッチを「WEAK」にするとこの作用は強くなり、「STRONG」にするとき強くなります。

【ご注意】使用例をお試しになる前に

- 使用例①-③はシルトの各コントロールを制限するセッティングの例です。このオファーズは必ずご使用ください。

- 最終的にアンプ、スピーカーによって音色が劣化することもあります。アンプのトレーニングを良好に調整するか、シルトの各コントロールを少し変化させてください。

- 各使用例は音を録るのに必要な状態の状況を記しています。参考までにあらためて確認してください。また、音はVCOの"OUT LEVEL"で自由に設定してください。
（使用例①）2VCOによる重音。

・２つのVCOのピッチを１度ずつ増や（D-o1）になるようにセッティングすると、複雑な音色が得られます。

（使用例②）LFOによるパルスワイズ・モジュレーション。

・キーを押しながら、LFOのレート・コントロールのつまみをゆっくりと上げて行きます。

（使用例③）ビブラート効果、（VCOモジュレーション）

・キーを押しながら、LFOのレート・コントロールのつまみをゆっくりと上げて行きます。

（使用例④）ディレイ・ビブラート効果。

・"／"のビブラート効果にLFO-2のディレイタイム・コントロールを加えると、キーを押してからしばらくして効果がわかり始めます。

（使用例⑤）シンクロによる音源設定

・VCO-1のシンクロを"STONG"にすると、ひとつひとつのVCOや２つのVCOを重ねた時には得られない音色が得られます。
VCO-2

レンジ(RANGE)

● VCO-1のレンジと同じ機能で、VCO-2の基本的な音の高さを設定するつまみです。

ピッチ(PITCH)

● VCO-1のピッチと同じ機能で、VCO-2の音程の微調整をするつまみです。VCO-1のビッチ値と音高関係に設定し、音を重ねて組みあわせた音を出すこともできます。（使用例①参照）

ウェーブフォーム・セレクター(WAVEFORM)

● VCO-1のウェーブフォーム・セレクターと同じ機能で、VCO-2の音源波形を選択するつまみです。

パルスワイズ・コントロール(PULSEWIDTH)

● VCO-1のパルスワイズ・コントロールと同じ機能ですが、切替スイッチは「MANUAL」と「ADSR」の2種類があり、「MANUAL」にした場合にはパルスワイズ・コントロールで設定されたパルス幅の比率が固定され、「ADSR」にした時にはエンベロープ・ジェネレーターのADSRで示されたエンベロープ信号に従って自動的に波形が変化します。（使用例⑥参照）

ノイズ・ジェネレーター(NOISE GEN.)

擬音・効果音などをつくる場合の音源として活用できるノイズを作成することができます。（使用例⑥参照）
ノイズのレベル設定はミキサーで行います。

レバースイッチ(WHITE/PINK)

● 「シャー」というホワイト・ノイズと「ザーレ」というピンク・ノイズの2種類に切り替えることができます。

（使用例⑤）ノイズによる擬音。

リング・モジュレーター(RING MOD.)

2つの音源の組み合わせによって、チャイム的な音など、他の音源ではつくることのできない効果音を出すことができる装置で、単独で効果音として使うことができます。または、VCOを重ねて厚みのある音をつくることができます。（使用例⑥参照）

レバースイッチ(VCO-1/EXT.IN, VCO-2/NOISE, RING MOD.)

● 2つのレバースイッチと、切替スイッチ(VCO, NOISE)により、次に示す4つの組み合わせができます。
  (1) VCO-1とVCO-2。
  (2) VCO-1とLFO (VCO, NOISE)またはノイズ。
  (3) EXT-IN(外部入力)とVCO-2。
  (4) EXT-IN(外部入力)とLFO (VCO, NOISE)またはノイズ。

ビンター・ノイズを前後したLFOの擬音です。LFO-2のレート・コントロールをゆっくり上げてスピード感を出します。
2. 音源のミキシング —— 音色に関するコントロール。

ミキサー (MIXER)
音色、音量を設定するVCF、バンドパス・フィルタ（BPF）、VCAへ送る前に、各音源のミキシングをするところです。

レベル・コントロール (NOISE, VCO-1, VCO-2, RING MOD., EXT.IN)
ノイズ、VCO-1、VCO-2、リング・モジュレーター、外入力の計5つの音源の各レベルを、ミキシングしながら設定できます。

3. 音色の設定

VCF
音源の音色に変化を与えたり、全く違う音色に作り直すことができるコントロールで、切替スイッチ (LFF / BPF / HFP) により3通りの働きをします。

カットオフ・フィリレンジ (CUTOFF FREQ.)
● ひとつの音の音色構成を変化させて音色を変えることのできるコントロールで、切替スイッチ (LFF / BPF / HFP) により3通りの働きをします。
● ロープパス・フィルター (LPF) の場合は、高い

レゾナンス (RESONANCE)
● カットオフ・フィリレンジによって切り出す音色のもう一段を強調して音色効果を高めるもので、つまみを上げるとリアリズムに近づく効果があります。
● 目盛り「8」以上では発振音を発生し、この発振音自体を音源にしたり、音色効果として活用することもできます。（使用例⑧参照）
「LPF」「BPF」「HPF」のいずれにした場合でも、トリミングを上げすぎた時には効果は表われず、下げ過ぎにした時に効果が表われます。
特に「LPF」にした場合、トリミングを下げ過ぎにした時は明確な音色効果が表われます。

VCFモジュレーション (MOD.)
- LFO-1、2の信号を用いて「N」、「H」、「L」に従って自動的に音色効果を繰り返すグローピン効果を出すもので、切替スイッチでLFOからの信号数のローパスフィルタで書き換えられるもので、モジュレーションのつまみで効果の深さを設定します。

この場合の効果のレートはそれぞれの波形を発生するLFOで設定します。
- 切替スイッチを「N」にした場合には、LFO-2のディテクション・コントロールでディレイ効果を加えることができます。
- 切替スイッチを「S/H」にした場合はサンプル・ホールド(SAMPLE / HOLD)の各コントロールで示された信号に従って音色が自動的に変化します。特有な音色効果として使うことができます。(16ページ「コントロールのあたる音色の選択」参照)

この効果は、カットオフ・エフェクトを切替スイッチで「LPF」「BPF」「HPF」のいずれにした場合でも、トリミングを上げすぎた時には効果は表われず、下げ過ぎにした時に音色が表われます。

〈使用例③〉ハイパス・フィルターによる音色設定。

・ハイパス・フィルターを使って音色を調整し、ツァーゲーの感じを出したものです。VCO-2のペルプ・スイッチ・コントロールをADSRで作動させて、音に厚みを加えています。また、キーボード・フォロー・コントロールを「0」にし、レスノンスの発振音と共にフィードバック洗浄の感じを出したものです。

〈使用例③〉キーボード・フォロー・コントロールによるナチュラルな楽器の音響感。

・スロートの音をつくるもので、キーボード・フォローによって、弦楽器や楽器や楽器の異なる自然な音の設定ができます。また、センシティブで音色効果を出すと音、VCFエンベロープやVCAエンベロープを代わりにしています。(使用例③参照)

〈使用例③〉エンベロープ信号による音色効果

・VCFでエンベロープ信号を使った音色効果を出したもので、レスノンスの発振音も加えて、強烈な効果が得られます。

バンドパス・フィルター (BAND PASS FILTER)
音源に含まれている音色を表すもう一つの周波数の音色のみをと出し、特定の音色のみ音色にミックスすることができるもので、共振作用の効果を得ることができる。
単独で、もしくはVCFと組み合わせてさまざまな音色をつくることができます。(使用例③参照)

レノンス (RESONANCE)
・フィルタのつまみによって設定されたバンドパスの周波数帯域を狭くして中心を強調するもので、つまみを右にまっすぐに従ってその作用は強くなるようになります。

レベル・コントロール (LEVEL)
・バンドパス・フィルターからの出力レベルを調節するもので、VCFと同時に使う場合にはレベル・バランスをとることができます。
4. 音量の設定

音の出方・鳴え方に関するコントロール。

エンベロープ切替スイッチ（ADSR/ヘ/AR）

- 音の出方・鳴え方を選択するスイッチで、エンベロープ・ジェネレーターで設定された「ADSR」、「AR」及びスローマークのエンベロープがプリセットされた「ヘ」の3種類の中から選ぶことができます。
- 各エンベロープはホールド・レベルを上げるに従って鳴きが弱まり、ホールド・レベルを最大にすると鳴きが無くなります。

ホールド（HOLD）

- キーから指を離しても音が鳴り続ける働きをするもので、その場合のレベルをつままでコントロールすることができます。
- つまみを右にまわすと鳴ってホールド・レベルは高まり、同時に、エンベロープ「ADSR」、「AR」、「ヘ」及び、VCAモジュレーション（トレモロ効果）の働きは弱まります。
- VCFのカットオフ・フィリケンシー（LPF, BPFの時を音が出なくなる範囲まで下げ、ホールドを変化させて、VCFのエンベロープ切替スイッチで設定されたエンベロープに従って音が出てきます。}

VCAモジュレーション（MOD.）

- LFO-1, 2からの信号「W」、「ヘ」、「R」に従って自動的に音量が変化を繰り返すトレモロ効果を出すもので、切替スイッチでLFOからの信号を選び、モジュレーションのつまみで効果の深さを設定します。
- この場合の効果の形はそれぞれの波形を発生するLFOで設定します。
- 切替スイッチを「ヘ」にした場合には、LFO-2のディレイタイム・コントロールによってディレイ効果を加えることができます。
- VCAモジュレーション（トレモロ効果）はホールドのつまみを上げて鳴って鳴き方は弱まります。

アウトレベル（OUT LEVEL）

- VCAの出力レベルを設定するもので、全体のポリューム・コントロールとして働きます。

パンニング（PANNING）

- 背面のステレオ・アウトプットを用いて2台のアンプを接続した場合に、左右の音量バランスをとったり、左右の音を移動させたりすることができる。
5. コントロール信号の設定

LFO-1

VCO、VCF、VCAの各モジュレーション、サンプル＆ホールド、VCO-1のパルスワイスで使われる低周波信号の発振器で、「MA」 「M」 「MA」の種類の波形を発生します。
また、リング・モジュレーターの音源のひとつとして使うこともできます。

リバース・スイッチ(REVERSE)

「MA」と「M」に波形を切り替えるスイッチです。

レート・コントロール(RATE)

低周波信号「MA」 「M」 「M」のレートを設定するつまずみです。

LFO-2

VCO、VCF、VCAの各モジュレーション、サンプル＆ホールド、VCO-1のパルスワイス、及びエンベロープジェネレーターのトリガー切替で使うことができる低周波信号の発振器で。「MA」「M」「MA」の3種類の波形を発生し、「M」にはディレイ効果を加えることもできます。
また、リング・モジュレーターの音源のひとつとして使うこともできます。

ディレイタイム・コントロール(DELAY TIME)

「M」を使った時に、キーを押してから波形を発生するまでの時間を設定するつまずみで、ディレイ効果として楽器音らしい効果を出すことができます。（使用例③参照）

サンプル＆ホールド(SAMPLE/HOLD)

LFO-1、2からの信号「MA」「M」及びノイズ・ジェネレーターからの信号「RANDOM」を一定の間隔で区切り、そのひとつひとつからその信号の波形を切り出す設定で、VCO-1及びVCFの各モジュレーションに活かすことができます。
また、エンベロープ・ジェネレーターのトリガーに、サンプル・タイムで設定した間隔の信号を使うこともできます。（使用例⑤参照）

切替スイッチ(NA/M/RANDOM)

「M」からの信号「M」「M」「M」及びノイズから出た信号「RANDOM」の3種類を選択するスイッチです。

サンプル・タイム(SAMPLE TIME)

切替スイッチ(NA/M/RANDOM)で選んだ信号を区切る間隔を設定するつまずみです。

ラグタイム(LAG TIME)

サンプル・タイムで設定された間隔でとり出したひとつひとつの信号の立ち上がりを設定するつまずみです。
エンベロープ・ジェネレーター
(ENVELOPE GEN.)

音の出方・消え方を示すエンベロープ信号を設定するコントロールで、「ADSR」、「AR」の2種類のエンベロープをつくることができます。

エンベロープ信号は、VCFの音色効果、VCAのエンベロープ、及び、VCO-2のモジュレーションとパルスサイズに使うことができ、「ADSR」、「AR」の2種のエンベロープ信号を使い分けることもできます。（使用例③参照）

また、作曲を指示する信号を、ADSR、ARそれぞれのトリガー選択スイッチで選ぶことができます。

●音の出方・消え方を示すエンベロープ信号を設定するコントロールで、「ADSR」、「AR」の2種類のエンベロープをつくることができます。

音の出方・消え方を示すエンベロープ信号を設定するコントロールで、「ADSR」、「AR」の2種類のエンベロープをつくることができます。

エンベロープ信号は、VCFの音色効果、VCAのエンベロープ、及び、VCO-2のモジュレーションとパルスサイズに使うことができ、「ADSR」、「AR」の2種のエンベロープ信号を使い分けることもできます。（使用例③参照）

また、作曲を指示する信号を、ADSR、ARそれぞれのトリガー選択スイッチで選ぶことができます。

●音の出方・消え方を示すエンベロープ信号を設定するコントロールで、「ADSR」、「AR」の2種類のエンベロープをつくることができます。

音の出方・消え方を示すエンベロープ信号を設定するコントロールで、「ADSR」、「AR」の2種類のエンベロープをつくることができます。
6.演奏時のコントロール

コントローラー (CONTROLLERS)

● 鍵盤全体の音程を上下1オクターブずつ変えることができ、3オクターブの切り替えができます。

トランスポーズ (TRANSPOSE)

● 先に押したキーから次に押したキーへ音が連続的に変化する効果を出すもので、切替スイッチにより「VARIABLE」と「FIXED」の2種類を選ぶことができます。

ポルタメント・スイッチ（POLTAMENTO）
ポルタメント・タイム (POLTAMENTO TIME)

● ポルタメント効果の長さを設定するもので、つまり右にまわすと長く、左にまわすと短くなります。

切替スイッチ（VCF）

● 切替スイッチを「VARIABLE」にした場合にはポルタメントタイムが設定されている長さでポルタメント効果がかかります。

● 切替スイッチを「FIXED」にした場合には、あらかじめセットされている設定で長いポルタメント効果がかかります。

ベンダー (BENDER)
VCO/VCF切替スイッチ (VCO/VCF)
VCOベンダー切替スイッチ (SEMI/WHOLE/ QUINT)

● ビッチや音色をレバー操作で変化させることのできるもので、オート・リターンのベンダー・レバーでコントロールすることができる。

切替スイッチを「VCF」にした場合には、VCOベンダー切替スイッチ (SEMI/WHOLE/QUINT) で示されている動画範囲で、ビッチを上下させることができます。

VCOベンダー切替スイッチを「SEMI」にした場合は半音、「WHOLE」にした場合には1音、「QUINT」にした場合には5度の範囲のビッチ操作ができます。

● 切替スイッチを「VCF」にした場合には、ベンダーがVCFのカットオフ、リフェクシーの範囲をとし、VCFのカットオフ、リフェクシーで設定された音色を、演奏しながら変化させることができます。

7.ヘッドホーン・モニター

ヘッドホーン・モニター (PHONES)

ヘッドホーンを接続して、モニターすることもできます。

レベル・コントロール (LEVEL)

● 接続したヘッドホンの音量が、VCAのアウトレットとは関係なく調節できます。

各コントロールをセットしても正常に音が出ない場合には、次の各項目を確認してください。

(コントロール部)
① 音が弱くない必要のないコントロールが作動していますか。
特に「トリガーカットスイッチ」「エントール・ジュネレーター」「キー・テーブル切替スイッチ」「カットオフ・フリケーション」「VCF」「VCA」の各モジュレーション、及びポルタメントのコントローラーを調節してください。
② ポルタメントのレベル、もしくはVCAの「OUT LEVEL」が下がっていますか。
③ 「その他」
④ SH-5及び、接続したアンプの電源スイッチは入っていますか。
⑤ SH-5を接続したアンプ、電子オルガン等のポリュームが下がっていますか。
また、電子オルガンでエクスプレッション・ペダルがSH-5と通電になっている場合、ペダルが鳴り込んでいますか。
⑥ SH-5とアンプ、電子オルガン等の接続方法に問題はありませんか。
(3ページ「接続の方法」参照)
⑦ 断続的接続コードを使用していますか。

Roland
SH-5サンプル・サウンド

・ここに載っているサンプル・サウンドは、SH-5でつくり出すことのできる音のごく一例です。
・接続するアンプ、スピーカーによって、音色が着しく変化することがあります。その場合は、アンプのトーン・コントロール部で調整するか、サンプル・サウンドに記載されているつまみの位置を少し変化させてください。

・バイオリン

・演奏に沿ってコントローラーのポルタメントを「VARIABLE」にして、ポルタメント・タイムを「1」にして弾いてください。

・トロンボーン

・コントローラーのポルタメントを「VARIABLE」にして、ポルタメント・タイムを「1」にして弾くと感じが決ます。

・ハープコード

・コントローラーのポルタメントは「OFF」にして、キーはスケール感にごして弾いてください。

・ピブラーホーン

・コントローラーのポルタメントは「OFF」にして、キーはスケール感にごして弾いてください。
● プラネット

演奏に応じてコントローラーのボルタメント効果を加えてください。

● ライフル発射音

キーを押すと発射音が飛び出します。カットオフ・フリクションとレゾナンスの位置で変化感が出ます。

● ファニー・キャット

スターカット気味で弾いてください。

● コミカルなあくぶの音

VCFモジュレーションでS/Hを使った効果音で、たとえした音の音がうがいを連想させるコミカルな音が出ます。

● 口笛

VCFのレゾナンスの発音音を含む声にした音です。コントローラーのボルタメントを「VARIABLE」にし、ボルタメント・タイムを「1」にしてメロディを弾いてください。
| VCO 1 | | VCO 2 | | LFO 1 | | LFO 2 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| VCOレンジ | 32°-16° | VCO2 | 50° | LFO1 | 0.1-20Hz |
| ピッチ・コントロール | ±5度 | レート(θ) | 0.1-20Hz |
| モジュレーション・レンジ | θ | ダイレイタイム・コントロール | 0-4秒 |
| モジュレーション・コントロール | 50% | サンプル・モード・レンジ | 2-10 |
| バルスワイヤ・レンジ | θ | ホールド・ランタイム・コントロール | 1 |
| バルスワイヤ・コントロール | θ | エンベロープ・ジェネレーター | 1 |
| シンクロ・レンジ | θ | チューン・コントロール | ±1.5 |
| ノイズ・ジェネレータ・レンジ | ホワイト→ピンク | ディレイタイム | 0-7秒 |
| リング・モニター | レベルコントロール | リモートタイム | 0-15秒 |
| | ベンダー・レベル | トリガーレベル | KYBD-S/H-LFO-2-EXT.IN |
| ベンダー・コントロール | ベンダー・レベル | ベンダー・レベル | KYBD-S/H-LFO-2-EXT.IN |
| ベンダー・レンジ | VCF | セミ→ホワイト→クイン | 1 |
| ハードクリーム | レベルコントロール | ハードクリーム | ハードクリーム | |
| | | | | |
| コンパッター | コンパッター | コンパッター | コンパッター | 2 |
| | | | | |
| スピード・スライド | LFO1-LFO2 | スピード・スライド | VCF、BPF、VCA | 2 |
| | | | | |
| 信号電力 | 20W | 信号電力 | 2.5m接続コード×1 | 2 |
| | | | | |
| ローランド株式会社 |
| 大阪本社・営業本部：〒559 大阪市住之江区新北島3-2-26 | 京都本社：〒603 京都府京都市中京区今仓8-3-16 | 東京本部：〒101 東京都千代田区外神田3-9-7 | 名古屋本部：〒460 名古屋市中区栄1-13-15 |